

22/10/7 名古屋城跡全体整備検討会議  
名古屋市民オンブズマンによるメモ

14:00 鈴木保存整備室長：始める

上田所長：議題 修復など5題  
20年を経て積みなおし 包括許可申請

鈴木室長：座って進行  
出席者紹介  
リモート文化庁2人  
藤井先生欠席  
撮影録音はここまで  
搦め手馬出基本計画 構成員机上配布

瀬口：事務局から説明を

鈴木室長：本丸搦め手馬出  
文化庁に現状変更申請を出す段取りができた

保存整備室：包括現状変更申請をしたい  
石垣積みなおし工  
令和4年度、5年度工程表

14:16

瀬口：説明をいただいた 意見は

赤羽：3点聞きたい  
文化庁と打ち合わせ済み 異議はない  
・1ページ右側 雑草除去  
石垣撤去済み 雑草はない  
・東面石垣 ジオテキスタイルの説明  
北面には設置不必要なのか？  
何が違うのか  
・予算の話  
市単 国補？  
長引いた石垣修理 市がお金をつぎ込むべき

20年 もっと早く 要求してほしい

保存整備室：・除草 その通り

- 背面盛り土は土 おいてある石材 草木が繁茂
- ・ジオテキスタイル 標準断面図 東側ダメ
- 北側も同じような施工で 誤解を生じないように 平面図で示したい
- ・予算 解体した部分を早期に積みなおすのは大事 国費補助をいただいて 予定 しっかり要求したい

麓：現状変更には関係ないかも  
背面盛り土 石灰混合とある  
強度が不足するということか

鈴木：元の土 良質土  
一定の強度はでる  
短期強度をあげるため石灰を入れる

麓：わからない  
強度を高めるには突き固めないと  
それでも足りないのか  
石灰混合 ほかの城郭でもやるが、あまりよくない  
セメントは抵抗がある 石灰は認める傾向がある  
調合  
必要な強度をどれくらい設定しているのか  
発想が理解できない  
部会では検討されていると思うが

鈴木：土砂は長い時間で締まる  
最終的な強度になるまえに  
なぜ石灰？ 土質次第

麓：下層から低圧  
施工段階 d 芽生

鈴木：強度計算はしている

入れる％は2％ 最低限  
それ以下ならばらつく

瀬口：「この土地は老朽化している」

鈴木：西形先生の発言

瀬口：老朽化

鈴木：ぱさぱさになる  
水路になる

瀬口：転圧、石灰で粘着化

鈴木：ぱさぱさは土を変えないと  
もう一度同じことが起こらないように

三浦：合石 詰石ともいう  
工期4年 高さ10メートル  
いつ詰めるのか書いていない  
決まっていないのなら、10メートル 下に重さがかかる  
最初詰石を入れる その後上に載せると、バランスが若干変わる  
正しくは、一番上まで積んでから一気に詰石をいれるのがよい  
工程をいれて

鈴木：その手順の検討はしてこなかった

瀬口：ほかは

丸山：麓先生と関係する  
土を入れて数年  
ほおっておくと安定する？  
標準断面層 斜めになっている

鈴木：高速道路など 重さがかかっていないところ 沈下予測  
今回 400年荷重がかかっている  
下は十分締まっていると考える

上 転圧する 新しく乗ったのは沈下量はない

丸山：4年間で転圧が収まるのか  
自重でどこまで下がるか  
それで十分？

鈴木：強度と沈下は違う  
沈下はそこまでない  
毎年度モニタリングする予定  
完成後もモニタリングする予定  
モデル図 丸みのある斜めライン  
現実には階段状になる

丸山：どれくらいの高さ？  
標準断面なので正確に

鈴木：しっかり締めるには20センチピッチくらい

丸山：重要なところ

鈴木：樹木は伐採する 根っこも取る予定

丸山：石垣から樹木が生えている

鈴木：あまり大きいのはない

瀬口：1ページ右表 解体10年 調査、対策、解体？

鈴木： 対策：枠  
解体：逆石を残していた

瀬口：どれくらい石が傷んでいるのか

鈴木：角石 隅石  
4400石解体 一つ一つチェックした  
5段階評価 再使用不可能 80石程度  
ほとんどの石は再利用できる

現場で出てくるかもしれないが

瀬口：10ページ 462石  
92/462 20%くらい  
積みなおすと2割くらいダメになる？

鈴木：下の方が悪くなる

瀬口：もともとが貴重  
積みなおすことで変質していく  
50%くらい補充している

鈴木：栗石はそれくらい

瀬口：本質的な価値をなくしている？  
まだあると理解するのか

鈴木：可能な限り古材をつかって  
本質的価値を保って

瀬口：馬出しの本質的価値は  
石垣そのものではない

鈴木：馬出しという空間をどうするか

瀬口：本質的価値 考える必要がある  
新古材 違うのではないか  
文化庁 石垣保存方針 読み切れていないから報告する  
修復に影響があったのか？

鈴木：熊本城 新しい計算、評価の仕方  
今回の積みなおし それではなく、これまでやってきたもので

瀬口：説明して 市民に分かりやすく

鈴木：まとめて出す

瀬口：25年かかるが、包括的申請を出す  
現状変更の手続きを進めることでいいか  
次 二之丸庭園

14:50

鈴木：池の中

名古屋城：説明する

瀬口：補足してほしい  
発掘調査したい  
石ABCはどこか

名古屋城：これ

瀬口：書いて  
質問は？  
特にない  
現状変更を進めて  
西之丸

14:56

鈴木：西之丸  
去年11月オープン 西之丸城宝館のこと

名古屋城：発掘調査の結果  
完了した

名古屋城：調査成果 六番御蔵 調査得た  
一番御蔵 一部情報を得た 位置推定可能になった  
二番～五番御蔵 情報を得られなかった  
石列毀損事故 六番御蔵  
一番御蔵 資料4ページ  
図3-4  
近世水道（みずみち）もある  
復元案は妥当ではないか  
金城温故録 正確性が分かる

二番御蔵 5 ページ

名古屋城：修景イメージ素案 7 ページ

あとは礎石を表現できるように

水道も遺構跡を表現したい

二番～五番 絵図から表現したい

8 ページ 六番御蔵 遺構がたくさん見つかったている

表現方法 ご助言いただければ

15:17

瀬口：ご意見ご質問を

麓:礎石 白抜き 推定

赤で塗りつぶしたのは痕跡あり

とまえ 赤い実線と破線

痕跡があるのか？

名古屋城:実線 とまえと判断した理由

礎石と思われる石が検出された

絵図と比較するととまえがあったのでは？

左に瓦敷きの遺構

この位置がとまえではないか

麓:破線 発掘調査はしてないがあるのでは？

名古屋城:なにかしら出る可能性がある

図 3-2

全体のバランス 西側によっている

間隔は一定ではない

麓:とまえと内部の間仕切りは関係してくる

次 8 ページ 整備案

右 自然石 地復石

ここはないと判断していいのか？

とまえ 別の色が塗ってある

名古屋城:8 ページ 東側にある 西側はない

ぬのぼり もともと地復石はなかったと思う

麓:とまえはいい

色を変える

名古屋城:境界石を表現したい

麓:ぬのぼりはなんのため?

理解できない

とまえ

名古屋城:ぬのぼり

地盤を土壤改良 硬くするために埋めたのでは  
礎石立ちではなくて土台で立たせていると想定

麓:礎石の上に土台があったとして、高さ

隙間ができる

どうしてたのから土壁

鈴木:逆の方が説明しやすい?

名古屋城:地復石がどうして中途半端か

麓:礎石の上に柱や梁を置いて

建築的なことを考えて話しているのか?

考古学的な検討だけか?建築的な検討は?

名古屋城:考古学なことだけ

麓:解釈が誤ることがある

丸山:発掘をそのまま表現

何を表現したいのか

イメージパース?整理されていない

一番御蔵 既存樹木は

まだ整理されてない?

かや どう広場で整理するか



加工石材 書いてある  
縁先 既製品でやられている  
加工石材でやるのなら、名古屋城になれた石材がある  
あんなのがぐるっと回ったら名古屋市は恥をかく  
植栽検討  
発掘結果と表現したいものが整理されていない

瀬口:ほかは

鈴木:樹木7ページ 鳥瞰 直していくつもり  
野芝か高麗芝  
輪郭をあらわす石をどうするか  
リアルなものは「そんなものがあつたのか？」

丸山:デザインでなんとでもある  
歴史的なものを設置した  
積極的に利用 長い歴史 表現する

村木:発掘調査の成果と建物にギャップ  
建物は弱いところ  
整理する中でやりたい

瀬口:蔵跡に木は必要か？

鈴木:当初平成26年ごろ  
気を切ってしまう  
景観 緑が親しまれている  
一定数 貴重な樹木は残したい

瀬口:梅の木は切ったのでは？

鈴木:切っていない

瀬口:蔵を示したいのでは？

鈴木:近世の姿に戻すのなら木は切る

瀬口:木陰をなるところを作るのは難しい  
ベンチを置くのか?

鈴木:ベンチを置くにも現状変更

瀬口:わかりにくくなる  
境界線に石は使わなくても  
また引き続き意見を

鈴木:よく検討する  
平面っぽくかく

瀬口:10分休憩 15:50から再開

15:53

瀬口:はじめる

村木:鷓の首 小天守西  
今年3月 回答 石垣下部の安定性を確認  
9/7 石垣部会にはかった  
資料1ページに書いた  
オルソー 段差がある  
築石が飛び出している  
近代に積み直されたもの  
濃尾地震の後の修復か?  
主要導線 レーダー探査の結果  
盛土をもつ構造  
根石の状況は?レーダー探査しにくい 得られなかった  
実際に発掘して調査したい  
2ヶ所トレンチ  
南側石垣面 よくない  
口の調査区  
水堀の一部を発掘 必要な範囲で  
近世の遺構面まで  
必要であれば  
手法 表土 手掘りで発掘  
埋め戻しの方法 石灰添加

内堀は石灰添加  
まわりとかなり違う 改めて検討したい  
今年度中に発掘したい

16:00

瀬口:質問は

小濱:突出部分  
盛土の幅は狭い  
石垣そのものが突出?

村木:栗石、築石の変化  
根石の状況  
突出がどうして起こったのか

小濱:空隙はないのか?

村木:慎重に検討

瀬口:ほかは?  
なにがわかると想定しているのか

村木:石垣が突出  
安定性に影響あるのか

瀬口:土圧ではないとすると、根石  
わかったら積み直すのか?

村木:今後検討

瀬口:何平米くらい?

村木:データを持ってない

瀬口:だいたいいい

村木:100 平米程度

瀬口:1 平米 100 万円なら 1 億円くらい  
特に調査に異論がなかった  
現状変更を進めて  
5

村木:石垣保存方針

3 年くらい計画で進めている  
整理する整備 基本的な考え方  
資料 5

簡単に説明

表 1 平成 30 年 5 月石垣保全方針を定める  
保存方針と基本的にはおなじもの  
令和 4 年 3 月 天守台石垣の保存方針概要整理  
はかる内容

ABC

現況調査

評価と把握

保存修復の考え方整理

検討課題と対策

廃城期 石垣面

後から作られたもの

4 ページ表 2

撤去

埋め立て

新設

修復一部改変

根石中心 下は生き残っている

上部改変

6 ページ 天守台穴蔵石垣

下部 とどめている 上部は改変

小天守西側内堀石垣

積み足しされたのでは？

名古屋城 どう考えるべきか

表 2 保存活用計画で議論

3 つ目 歴史的経緯を示す諸要素

資料 4

緑色 石垣面 「本質的価値を構成する要素」方針があいまい  
小天守西側 石垣部会「全体で議論して」  
5 ページ目 案  
本質的価値を構成する要素  
原則として修復復元することを前提に検討する  
昭和44年までに修復も、必要に応じて改めて修復復元  
積極的に修復するものではない

天守台穴蔵石垣  
令和2年9月始動  
原則 方針として各種事業 考え方の概要としたい

瀬口:意見や質問は  
16:18

麓:例:天守台穴蔵石垣  
原則として修復復元する  
あたかも穴蔵石垣は修復復元すると取れる  
それぞれの石垣だけのことを考えるのではなく、城内石垣  
なかったところに石垣作られてる  
条件が違うものを穴蔵石垣のために言いたがっているように思える  
そういう意図ですか？

村木:影響及ぶ  
考え方があいまい  
保存方針作るにあたり作りたい

麓:近代石垣  
個別に考えないといけない  
どうすることが名古屋城にとって価値があるか

村木:現実的にはそう  
整理したいのは、石垣面として評価したから、「一部改変してても手を入れない」ではない  
明確化したい

瀬口:穴蔵石垣に影響が及ぶ

村木:個別は今は議論できない

麓:近世と近代 違った  
近代は明確化してなかった  
だから明確にしたい  
必要があるのか？  
統一 「原則として修復」明確化する必要が思えない  
個別に検討すればいい

村木:たたき台を叩いて

高瀬:近代石垣は難しい  
近代でも価値があるものはある

村木:ありがとう

瀬口:他には  
名古屋城全体の石垣の面積は

村木:9 キロ

瀬口:10メートルとすると？

村木:1万平米

瀬口:1割 将来修復すると  
方針は予算を決めちゃう気がする  
価値があるものもないものも  
将来100年で何兆円かかる  
決めてしまうのでは？

村木:基本的考え方

瀬口:基本的考え方が重要  
名古屋市 経済性 在り方  
本質的価値はどこなのか  
高めるには何が必要か

突出しすぎる

村木:今日の議論を踏まえて検討

瀬口:意見は？

また検討して出して

全体を考えて方針を決めて

文化財の基本的な考え方で

文化庁 オンライン 一言意見挨拶を

平沢:議題が多くて中身検討 結構

会議自体 名古屋城全体 総括的にどうするか会議

個別の事業 そうとう工夫されている

なんか検討する事項が重要事項がたくさん

全体の進行の中でときどきにおいて進捗 正確に把握しづらい

事務局にお願い

次第に書いてあるが、冒頭に総括的に名古屋城全体

どこの箇所を議論するのか

いちいち確認できる

将来像を念頭におきながら評価 指導助言 蓄積あった方が

修理も進んでいる

今年度事業進捗

来年度こういう事業

名古屋城で進んでいること 毎回出ると全体を見失わない

他の事業目を向けられる

1.3.4.5 重要事項 具体的な議論された

渋谷:多くの議論ありがとう

現状変更許可申請 最終的場面でも指摘 有益な議論

一つ一つこの部分 調査整理

平沢主任 全体のロードマップ

今年度どこまでやるのか

来年度これをするから今これをする わかりやすい

石垣等 本質的価値 保存活用計画 大きな枠組み

石垣のもつ本質的価値とは？議論

座長 文化財として名古屋城跡 一番いい形になるか 立ち返る

ありがとう

瀬口:以上

16:36

鈴木:ありがとう

予定は以上

長時間ありがとう

16:37

時間が許せば現地視察を